

山陽小野田市議会

議会報告会

プログラム

- * 開会挨拶
- * 議会政策提言について
 - 総務文教常任委員会
 - 民生福祉常任委員会
 - 産業建設常任委員会
- * 山口東京理科大学の公立化について
 - 山口東京理科大学公立化調査検討特別委員会



議会政策提言に至るまで

平成26年8月



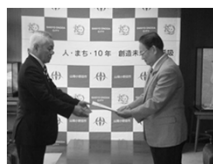
- ・全議員による政策討論会を実施
- ・人口減少問題について意見交換
- ・取り組むべきテーマを抽出

各常任委員会で調査・研究

平成27年11月

議会政策提言を提出

魅力ある山陽小野田市としての将来像
～人口増を目指して～



総務文教常任委員会

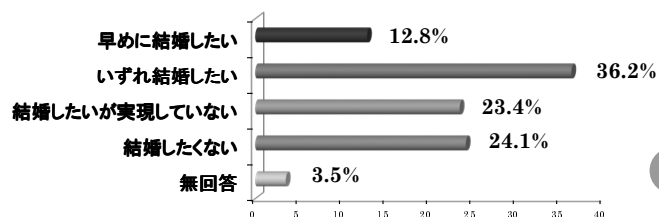
<政策提言>

- ・若者をターゲットにした定住促進対策
- ・山口東京理科大学を生かしたまちづくり

若者をターゲットにした定住促進対策

提言の背景

- ※晩婚化が進行、婚姻率や出生率の低下
- ※結婚したいができない理由のうち上位に「異性にめぐり合う機会がない」という回答(アンケート調査)



<本市の現状>

- 若者交流推進事業を実施したが、現在は休止状態
- 定住促進策について第2第3の矢が放たれていない

そこで..

提言内容① 若者交流推進事業の推進

- ※県とタイアップしながら本市限定の事業展開が必要
- ※目的を明確にする、数値目標の設定、民間活用
- ※ノウハウを持つ民間への委託を検討すべき



提言内容② 定住促進事業の推進

- ※市外流出を防ぐための政策を考えるべき
- ※市外の者が空き家を購入・改築した場合に補助金を
- ※空き家バンクの整備、担当部署の設置

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔をお願いします。

民生福祉常任委員会

政策提言

「子育てするなら山陽小野田で！」

(市民アンケート)

「子どもが2~3人欲しい」という希望が多い

→1. 51人(現実の子どもの数)

希望が実現しないのはなぜか?

目標
2.0以上に

経済的
負担

仕事との
両立

子育て
環境

※子育て支援策を県下トップクラスへ

* 出生者数を増やし人口 ↑
* 転入者数を増やし人口 up

● 提言内容

1. 経済的な子育て支援策の充実

- * 子ども医療費を中学卒業まで無料に
- * 保育料を第2子以降無料に

2. 保育園、児童館などの充実

- * 全ての小学校区に児童館を設置
- * 保育園待機児童の解消
- * 市民病院と連携し子ども医療相談窓口の設置



3. 「子育て支援」窓口の一本化
総合的な子育て支援センターの設置

現状 ・保育園や幼稚園、3歳児健診など担当部局
がバラバラ
・地域子育て支援センターの設置

提言 ・業務や部・課の統合、創設により総合的な
子育て支援の窓口設置
・大型商業施設内に総合的な子育て支援
センター設置



4. 人口増に向けた具体的な目標と意識改革

- * 全庁的体制での取り組み
- * 積極的な市民参画



● 今後の委員会の方針

- 提言した政策の実現に向け、委員会審査
所管事務調査を行っていく

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一问一答で行います。
- * 質問内容は簡潔をお願いします。

産業建設常任委員会

政策提言

- 『安定した雇用の創出』
- 『交流人口の拡大施策』

1. 安定した雇用の創出

(1) 企業誘致の推進

山口県人会や同窓会による企業情報の提供
県道江汐公園線の拡幅・通信網の充実

(2) 市内企業の育成

企業訪問の実施など

(3) 中小企業の活性化

起業者への補助金・融資制度の改正

(4) 雇用対策及び体制強化、拠点づくり

雇用状況の情報発信をする部署の設置
市役所の全庁体制の組織確立



2. 交流人口の拡大施策

豊かな観光資源の活用として

(1) 竜王山、焼野海岸地域の一体活用

(2) 江汐公園地域の事業展開

(3) 歴史、産業遺産群の活用

(4) 名産品、特産品のブランド化と6次産業の事業展開



スポーツ、レジャーを生かした集客対策として

- (1)レノファ山口を生かしたまちづくり
J1仕様のクラブハウスへの署名活動
練習場の拠点化
- (2)ゴルフ場を活用した集客施策の展開
- (3)スポーツ施設の拡充



交流人口増加の展開として

- (1)広域を視野に入れた観光ルートの整備
- (2)観光案内所の整備と観光情報の提供

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一问一答で行います。
- * 質問内容は簡潔にお願いします。

山口東京理科大学公立化 調査検討特別委員会

【議案第114号】

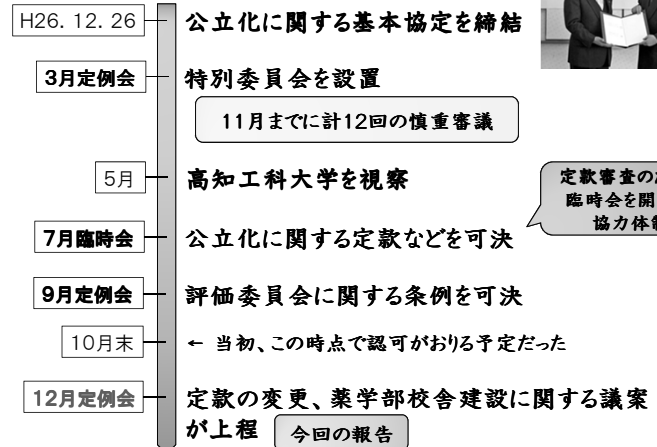
公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学
定款の変更について 他 計 議案3件

【債務負担行為補正】

山口東京理科大学薬学部校舎建設事業の部分



<これまでの経緯>



定款審査のために臨時会を開くなど協力体制

定款の変更について

別表(第28条関係)

所在及び地番	地目	面積
山陽小野田市大学通...	学校用地	〇〇〇㎡
山陽小野田市大学通...	学校用地	〇〇〇㎡
山陽小野田市大学通...	学校用地	〇〇〇㎡
宇部市大字東須恵...	学校用地	〇〇〇㎡
宇部市大字東須恵...	学校用地	〇〇〇㎡
宇部市大字東須恵...	学校用地	〇〇〇㎡

市が公立大学
法人に出資する
資産

資産の一覧から削除
評価額の変更

- 宇部市から学校法人東京理科大学に無償譲与された土地が含まれていることが判明
- これらは契約上、公立大学法人化することにより、宇部市に返還しなくてはならない土地

<主な論点>

- 何故、このようなミスが起きてしまったのか？
- 宇部市と東京理科大学の契約とはいえ、確認不足であった
- (委員会) 経緯を再確認し、今後の事業の推進にあたっては万全を期すよう強く要請

結論 全員賛成



※遅れている認可を少しでも早くしてもらうため、議会日程を繰り上げて議決

→ 平成27年12月25日付で県の認可がおりる

薬学部校舎建設について

<概要>

- 平成30年4月に薬学部を開設するためには、平成28年度に校舎の建設工事に着手する必要
- 基本設計等にかかる業者の選定作業を進めるために限度額1億1100万円を設定

内訳	金額
基本設計	4050万円
実施設計	4950万円
施設備品設計	400万円
測量・地質調査	1700万円

一般会計予算決算委員会

理科大特別委員会

連合審査



<主な論点>

- 薬学部校舎の建設場所
 - ◎厚狭駅南と現在の学校用地を比較検討
 - ◎面積不足、用地取得の時間的問題、投資的経費等の理由から厚狭駅南部地区を断念
 - ◎文化会館南側の土地は遊水地の役割があり困難
- 敷地内にある宇部市有地の使用、権利関係
 - ◎短大開設以来30年間、無償で使用してきた
 - ◎継続使用については合意、権利関係の協議は進行中
- 薬学部開設にむけたスケジュール
 - ◎平成30年4月に開設するためには12月中の採択が必至
 - ◎平成28年度中に教授陣のリストを文科省に提出
 - ◎校舎の建設は市内業者の力で完成させたい



<薬学部建設の賛否>

賛成

- 薬学部開学は地方創生にむけて非常に重要なポイントであり、まちの発展を念頭に置く必要がある
- 若者定住、地域活性化を果たすためには大学が必要であり、薬学部に対する期待感、機運を削いではいならない
- 公立化の認可が決定し、薬学部開設の期待が高まった

反対

- 総額110億円という大きな事業にも関わらず、市民や議会に対して十分な説明がなされていない
- 財政調整基金を取り崩し、その補充に不確定な交付金を充てることが市民の理解を得られるのか不安である
- スケジュールに無理があり、不測の事態に対応できない

結論

- ・委員会(可否同数) 委員長裁決により 可決
- ・本会議(賛成13、反対6) 可決

薬学部建設については賛否が分かれたが・・・

- △執行部の議会に対する説明不足、対応の不味さ
- △執行部の組織体制に問題がある

意見が一致

<議会側の対応>

- ①薬学部設置に関する決議(全会一致で可決)
 - ・議会との調整・協議を十分に行うこと
 - ・早急に現体制を刷新し、組織強化を図ること
- ②薬学部設置促進並びに利活用調査特別委員会

- ◎議会政策提言の中で「山口東京理科大学を生かしたまちづくり」について述べている

質疑応答

- * 発言の前に自治会名とお名前をお願いします。
- * 質問は一問一答で行います。
- * 質問内容は簡潔をお願いします。

ありがとうございました

アンケートにご協力ください